

医療法人社団博慈会 青葉さわい病院が 小児リハビリテーション「★きらり」をスタート。



令和6年4月1日小児リハビリテーションを開始

一般社団法人 新富士病院グループ本部（所在地：神奈川県横浜市青葉区、代表理事：中島一彦）に所属する、医療法人社団 博慈会 青葉さわい病院（所在地：神奈川県横浜市青葉区、理事長兼病院長：澤井崇博）が、令和6年4月1日より、小児リハビリテーション「★きらり」を開始いたします。放課後デイ、学校、療育センターでの集団適応に難しさを抱えているお子様のペースに合わせた個別リハビリテーションを専門家による総合的な支援のもと実施いたします。

「できた!をともに喜ぶ」

子供が育つとき、成長するとき、チャレンジするとき、その瞬間をともに喜ぶ存在でありたい。

ひとりひとりの特性を「個性・ユニークな才能・潜在能力」と捉え、小さなできた!を積み重ねて自信を育てたいと願っています。また、様々な職種の視点から、「きらり」と光る強みを見つけ、お子様の得意を伸ばすお手伝いをしていきたいと考えております。

青葉さわい病院の小児リハビリテーションの特徴

- ・個別 1on1 に対応
- ・医療スタッフによる総合的支援
- ・長期にわたる継続した支援



青葉さわい病院の小児リハビリテーション

対象疾患：発達障害（・自閉スペクトラム症・ADHD・学習障害・ダウン症等）

発達や言葉に問題がある子どもや、子育てに困ったご家族の相談を受け、発達アセスメントや行動観察などを行い、支援と一緒に考えます。遊びを中心としたいろいろな作業活動や言葉のコミュニケーションを通じて、基本的な運動機能や認知・情緒面の発達、言語面の発達などについて、理学療法士（PT）、作業療法士（OT）、言語聴覚士（ST）、により個別での評価やリハビリテーション、カウンセリングを行います。セラピストが連携して個々のお子様の発達課題や現在から将来にわたる生活を考慮した治療を行います。また、家庭や学校、社会でいきいきと生活できるよう支援を行います。

■背景・目的

日本で子供の人口は減少している中、発達障害の診断を受ける子供の数は増えていると言われています。背景には様々な要因が考えられますが、実際には診断がついても、適切な療育を受けることができず、日々の集団生活の中で生きづらさや困りごとを抱えている子供が数多くいます。そこで、当院の強みであるリハビリを生かし、このような地域のニーズに応えることはできないかと検討しました。今まで通り、入院患者さん、外来患者さんの対応は継続して丁寧に行い、さらに小児分野にも幅を広げることで、この青葉区の地域医療により深く貢献できると考えております。

小児リハビリ開始宣言



青葉さわい病院 小児リハ担当
石川 恵美子

認定作業療法士
発達障害児支援士
福祉住環境コーディネーター2級
地域包括ケアシステム委員会

「地域共生社会の実現」こんな言葉が数年前からよく聞かれるようになりました。ただの理想だと言われるかもしれませんが、地域とともに成長することとは、多様な人々の違いや特性を理解し、様々な人の想いに触れ、1人1人が尊重されることなのかなあと最近少しずつ感じ始めています。私達は今回、この地域の中で小児外来リハビリを開始する宣言を致します。何かで躓いている、自分に自信が持てないといった発達に凸凹を抱える子供達が、小さなことでもいいから「こんなことができるようになった」と共に喜ぶ存在になれたらと願っています。私自身もユニークな個性に向き合うことで学び・成長していきたいと考えています。この地域ではリハビリができていない子供達がたくさん居ます。私は人と人の繋がり・人と社会との繋がりを創ることに今使命感を感じています。まだどんなことができるか未知数ですが、真摯に誠実に子供達に寄り添い、力づけ、一緒に笑顔になれるよう、前進していきたいと考えています。



新富士病院グループ web サイト
青葉さわい病院 web サイト

<https://sfmw-g.org/>
<https://www.aoba-sawai.or.jp/>

この件に関する問い合わせ先

医療法人社団 青葉さわい病院 小児リハビリテーション広報担当 大平
045-901-0025 〒225-0004 神奈川県横浜市青葉区 元石川町 4300
ayako.oohira@aoba-sawai.or.jp

一般社団法人 新富士病院グループ本部 広報担当 片岡
045-482-9811 〒225-0011 神奈川県横浜市青葉区あざみ野 1-4-3 三橋ビル 4F
m-kataoka@sfmw-g.org